

目 次

はじめに

第 1 章 流通情報システムと標準化

第 1 節 流通の基礎	3
第 2 節 流通情報システム	8

第 2 章 流通システム標準の活用

第 1 節 店舗情報システム	15
1. POS システム	15
2. 発注システム	19
3. 棚割システム	21
4. 公共料金等の代理収納システム	23
5. 店舗における GS1 データバーの活用	25
第 2 節 物流情報システム	27
1. 発注・入出荷検品システム	27
2. 検品レスシステム	29
3. 物流資産の管理	31
4. 預り在庫型センターの適正在庫管理	34
第 3 節 EDI システム	36
1. 業務の効率化	36
2. 経営の見える化	40
第 4 節 安全・安心のためのシステム	41
1. ヘルスケア分野のトレーサビリティ	41
2. 牛肉のトレーサビリティ	47
3. 食品の原材料・資材管理	49
4. 製品安全情報の提供	51

第 3 章 識別コード

第 1 節 GS1 識別コード	57
1. GS1 識別コードとは	57
2. GS1 事業者コード	59
3. 商品識別コード (GTIN)	61
4. 企業・事業所識別コード (GLN)	69
5. その他の GS1 識別コード	72
6. さまざまな情報を識別する GS1 アプリケーション識別子 (AI)	74

第2節 その他の識別コード	77
1. 商品識別コード	77
2. 企業・事業所識別コード	83

第4章 データキャリア

第1節 バーコードシンボル、二次元シンボル	91
1. JAN シンボル	91
2. ITF シンボル	93
3. GS1-128 シンボル	95
4. GS1 データバー	99
5. GS1 データバー合成シンボル	102
6. 二次元シンボル	104
7. GS1 データマトリックス	106
8. GS1 QR コード	107
第2節 RFID（電子タグ）	109
1. 電子タグとは	109
2. 電子タグの分類	110
3. 電子タグに利用可能な周波数帯	111
4. 電子タグに関する標準化	112
5. 電子タグに用いるコード	113
6. 電子タグの動向	115

第5章 情報の伝達

第1節 企業間の電子データ交換（EDI）	119
1. EDI とは	119
2. 流通 EDI の歩み	119
3. 流通ビジネスメッセージ標準（流通 BMS）	121
4. グローバル EDI 標準	126
5. EDI 以前の取引情報標準化 — 統一伝票	130
第2節 サプライチェーン可視化の標準	133
1. EPCIS	133
2. EPCIS の利用イメージ	135
第3節 インターネット上における商品情報の伝達	138
1. GS1 SmartSearch	138
2. GS1 Digital Link	140

第6章 データベースサービス

第1節 GS1 Japan の商品情報データベース	145
1. GS1 Japan Data Bank (GJDB)	145
2. JICFS/IFDB	147
第2節 GS1 (国際) のデータベースサービス	153
1. GEPIR	153
2. GS1 Registry Platform	155
3. GDSN	156
4. データベースサービスの国際商品分類 (GPC)	159

第7章 流通システムの国際標準化機関 (GS1)

第1節 GS1 の組織	163
1. GS1 の概要	163
2. GS1 設立経緯とこれまでの歩み	163
3. GS1 運営体制	164
4. GS1 の会合	166
5. GS1 プリフィックスと加盟国・地域	167
第2節 GS1 標準と標準化活動	170
1. GS1 標準の概要	170
2. GS1 標準開発プロセス	170
3. 主な標準開発グループ	171

第8章 研究会・広報活動

第1節 研究会・協議会活動	175
1. GS1 Japan パートナー会員制度	175
2. GS1 ヘルスケアジャパン協議会	177
3. 流通システム標準普及推進協議会 (流通 BMS 協議会)	179
4. 製・配・販連携協議会	181
5. 情報志向型卸売業研究会 (卸研)	184
6. 酒類・加工食品企業間情報システム研究会 (F研)	186
第2節 広報・普及活動	188
1. 入門講座の開催	188
2. 機関誌・広報紙の発行	190

巻末資料

1. GS1 アプリケーション識別子 (AI) 一覧	197
2. 本書に登場する主な英文字略語	206
3. 関連資料案内	209